NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞を活用した「現代社会」の授業実践

2．学校名

東京都立第五商業高等学校

3．実践者名（代表者名）

荻原　真

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

現代社会　140人

6．単元（本時の学習課題）名

社会の出来事に関心を向ける

7．目標(狙い)

新聞から各自関心をもった記事を選び、その記事を選んだ理由、感想、その記事中の難解な語句の意味をB4用紙1枚にまとめる。またクラスでその内容を発表する。

8．評価の視点

新聞記事の内容の理解が適切であるか、意味調べが正確であるか、まとまりのある感想になっているか、質と量に応じて点数化する。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

学期に一人1回ずつ行う。授業開始時に二人ずつ。持ち時間は約3分。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

・スポーツ、芸能記事は除外するが、とはいっても、ことさら難しい記事（例えば、国際政治問題）を扱う必要はなく、地方版で取り上げられているような身近な記事（例えば地域で催されたイベント）でもかまわないことを理解させる。
・生徒の読解力の現状に鑑みて、新聞の記事はおおむね難解であるといえる。なるべくわかりやすい記事を選ぶことを助言する。
・発表する記事が重なってしまうことも多い。それは、社会の多くの関心を集めるような記事は、どの新聞でも連日取り上げられるからである（例えば北朝鮮によるテポドン発射）。テーマが同じであっても、発表者が異なれば、おのずと切り口も異なってくるだろうと助言する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

趣旨を理解して身の丈にあった記事を選ぶ生徒が多かったが、中には難解な記事を選んでしまい、苦戦する者もいた。また、テーマが重なってしまうことを気にしすぎる生徒もいた。

12．成果と課題

毎回、社会的な出来事を取り上げていくことによって、社会に対する関心が、クラス全体として高まっていくことが分かる。就職希望の生徒が半数以上を占める本校としては、このような雰囲気のいっそうの醸成につとめたい。